



# 大きな百合の木の下で

I B A R A K I U N I V E R S I T Y N E W S L E T T E R

SUMMER 2010 No. 20

茨城大学ニューズレター



2010

● 特集

◎ オープンキャンパス

◎ 大学の時間割

◎ 今ドキッの茨大のひと

● 学生が語る《自慢のゼミ・研究室》

● 学生国際会議



茨城大学  
Ibaraki University

# キャンパス アクセスマップ

日立キャンパス

水戸キャンパス

阿見キャンパス

## 水戸キャンパス開催 【全学部対象】

7/24

9:30 ~ 15:30 (9:00開場)



- 学部説明会
- 公開授業
- 保護者説明会
- 茨大生による相談コーナー
- 過去問配布、開示

■お問い合わせ  
〒310-8512 水戸市文京2-1-1  
TEL 029-228-8574 (入学課入学センター係)  
<http://www.ibaraki.ac.jp/>

### 【アクセス】

- 常磐線水戸駅からバス約30分。水戸駅北口バスターミナル7番乗り場より栄町経由茨大行にて「茨大前」下車



## 日立キャンパス開催

本年度終了  
しました。  
たくさんのご参加  
ありがとうございました。



■お問い合わせ 〒316-8511  
日立市中成沢町4-12-1  
TEL 0294-38-5223  
(工学部学務第一係)  
<http://www.eng.ibaraki.ac.jp/>

### 【アクセス】

- 常磐線日立駅からバス約20分。平和台行3または、小俣台行4にて「茨大前」下車
- 常磐線常陸多賀駅からバス約20分。日立駅行（中央線3または4）にて「茨大前」下車。



## 阿見キャンパス開催 【農学部対象】

7/18

10:30 ~ 16:00 (9:30開場)



- 農学部紹介
- 公開模擬授業
- 研究室公開
- 実験体験コーナー
- キャンパスツアー

■お問い合わせ 〒300-0393 稲敷郡阿見町中央3-21-1  
TEL 029-888-8519 (農学部学務係)  
<http://www.agr.ibaraki.ac.jp/>

### 【アクセス】

- 常磐線土浦駅（西口）からバス約20分。土浦駅西口バスターミナル1番乗り場より阿見中央公民館行にて「茨大前」下車



イベント  
盛りだくさん





# 平成22年度 茨城大学オープンキャンパス

●日時/平成22年7月24日(土)9:30~15:30(9:00 開場) ●場所/茨城大学水戸キャンパス・茨城県武道館

茨城大学では、各学部の説明会と公開授業を組み合わせたオープンキャンパスを実施いたします。

受験・入学を希望されている高校生のみならず、保護者の方々、高校の先生方をはじめ教育関係の方々、卒業生の方々、さらにはマスコミの方々に、茨城大学の教育活動の一端に直接触れていただきたく、オープンキャンパスのご案内を申し上げます。

タイムスケジュール等				
	時間	内容	会場	
学部説明会	人文学部	9:30~10:20	●学部長挨拶 ●入試紹介 ●学部・学科の構成紹介 (1) 推薦入試 (2) 一般入試	茨城県武道館
		12:00~12:50	●人文コミュニケーション学科紹介 ●質疑応答 ●社会科学科紹介	人文学部人文講義棟10番教室
	教育学部	11:00~12:20	●学部長挨拶 ●平成23年度入試概要について ●本日のスケジュール説明 ●在学生による学園生活の紹介	茨城県武道館
		13:00~13:45	●平成23年度入試概要について ●教員による教育実習等のビデオ紹介	教育学部B棟203番教室
	理学部	10:00~10:50	●挨拶 ●コース紹介・カリキュラム概要 ※1回目及び2回目とも ●入試説明 同一の内容となります。	理学部棟インタビュースタジオ ・理学部棟第9講義室
		11:30~12:20	●質疑応答	
	工学部	10:00~10:50	●各学科紹介	共通教育棟2号館 10・22・23・24番教室
		11:50~12:50	●質疑応答	共通教育棟2号館1階10番教室
	農学部	10:00~10:50	●学部長挨拶 ●質疑応答 ●農学部の教育と研究について ※第1回目及び第2回目とも ●平成23年度入試について 同一の内容となります。	共通教育棟2号館3階 30・32番教室
		14:00~14:50	●質疑応答	
	理系3学部 合同説明会	13:00~13:50	●挨拶 ●理系3学部の特徴 ●理系3学部の対象とする学問と学科構成 ●理系3学部のカリキュラムと進路 ●理系3学部の入試概要 ●質疑応答	共通教育棟2号館1階 10番教室
	公開授業	10:00~10:45 11:00~11:45 12:00~12:45 13:00~13:45 14:00~14:45 15:00~15:45	公開授業では、それぞれの学問領域で新しい研究テーマ、難問とされているテーマと日々格闘している教員が、様々な授業タイトルのもとに、学ぶことの楽しさ、苦しさ、面白さ、喜びの一端を、体験を交えてご紹介いたします。 ( <a href="http://www.ibaraki.ac.jp/guidance/opencampus/index.html">http://www.ibaraki.ac.jp/guidance/opencampus/index.html</a> )	
保護者説明会	10:00~11:30	入試の概要、学生生活、就職状況等についての説明及び質疑応答	茨苑会館(大会館)2階 集会室7・8・9	
インフォメーション コーナー	9:30~15:30	入試相談コーナー 過去問開示・配布コーナー 学生生活相談コーナー 就職相談コーナー 留学相談コーナー	共通教育棟1号館2階 会議室 共通教育棟1号館 学生センター	
茨大生による相談 コーナー	9:30~15:30	学生生活全般について在学生と話しが出来ます。	学生センター玄関前 (キャンपी広場)・図書館等	
宇都宮大学・福島大学 ブース	9:30~15:30	両大学の担当者が、それぞれの大学について説明し、 質問等にお答えします。	共通教育棟2号館1階 13番教室	
キャンパスツアー	随時	学生センター玄関前(キャンピー広場)でご案内しています。		



池田学長が正門でお出迎え



プランをたてたら各会場へGO!



熱気のある公開授業

## 神聖ローマ帝国とは何か？

中世・近世にドイツを中心に存在した「神聖ローマ帝国」は、不思議な「国」でした。現在の我々が考える「国」とはかなり異なり、しかもドイツ王が支配しているのに「ローマ帝国」でした。

カール大帝以後、アルプスの北の覇権勢力がイタリアに勢力を伸ばし、古代ローマ帝国につながる「ローマ帝国」を統治しました。オットー大帝以後は、アーヘンで戴冠したドイツ王が、イタリア遠征し、ローマで皇帝戴冠してキリスト教会の守護者になりました。

教ローマ帝国を発展させるためでした。

しかし実際には、教皇権と皇帝権の両普遍権力が優位争いを展開し、国内諸侯が自己利害を貫徹し、ドイツの統一が遅れた原因とされました。

帝国は国王・皇帝領国と諸侯領国(後の領邦国家)・都市領域の連合体で、中央権力の及ぶ範囲も「領土」観念もあいまいでした。三十年戦争を終結した「ウエストファリア条約」により、帝国の分裂は確定し、ヘーゲルは「ドイツはもはや国家ではない」と言い切っています。

ナポレオン戦争の最中、これまでなかった帝国から離脱する勢力が出現し、一八〇六年に帝国は終焉を迎えました。



〔図版：アーヘンの八角形聖堂内のカール大帝の玉座。大理石製〕

# 特集 大学の時間割

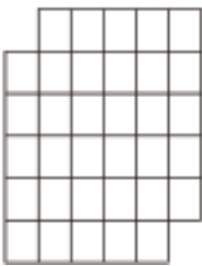
高校の学習科目は、大学ではどのように専門化・進化しているのでしょうか。

## 大学での学び方

高校と大学での学び方の違いはどこでしょうか。それは、復習中心から予習中心への切り替えだと思えます。復習中心の学びは、時間を効率的に使って知識を獲得できますが、「考える力」を磨くには、時間を必要とする

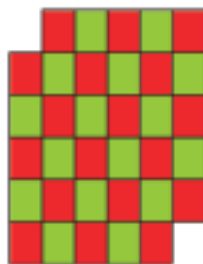
予習中心の学びが適しています。大学では、ゆとりた時間なが流れています。予習中心の学びに切り替えて、「考える力」を身に付けるチャンスです。ひとつの取り組みを紹介しましょう。空欄が一杯あるテキストを使って「考える力」を身に付ける授業です。まず、テキスト中の問題を読みます。

〔問題〕 6×6の方眼紙で、左上隅と右下隅が切り取られています。このとき、1×2の方眼紙17枚で覆えるでしょうか。



つぎに、解説文を読みながら空欄を埋め予習をします。問題だけでは解くのは容易ではありませんが、解説文を読みながら、じっくり考えて空欄を埋めてい

くことはできるでしょう。〔解説文〕 この方眼紙を赤と緑で市松模様塗りに塗り分けます。



1×2の方眼紙は、方眼紙の赤のマス目①、緑のマス目②、③個を覆います。したがって、1×2の方眼紙で、方眼紙をどのように覆っても赤のマス目と緑のマス目の個数は③個になります。

一方、この方眼紙の赤のマス目は④個、緑のマス目は⑤個となります。つまり、この方眼紙には赤のマス目と緑のマス目の個数が異なります。これでは、17枚の1×2の方眼紙で覆うことはできません。

授業中に説明を聞きながら答え合わせをします。間違った所やわからなかった所は納得するまで考えます。この作業を繰り返せば「考える力」が少しずつ身に付いていくでしょう。最後に解答を示しておきます。



## 総合英語プログラムについて

茨城大学では、全学部で総合英語レベル3以上の単位の修得が必修(卒業要件)で、総合英語必修単位数は、学部・学科により異なりますが、4〜6単位となっております。総合英語プログラムでは、週に2回の授業と90分の自主学習(CALL学習・英語での読書など)が課されています。茨城大学は、前期・後学期の2学期制ですが、総合英語科目は、各学期で、1科目(2単位)ずつ履修していきま

す。  
総合英語には、「レベル授業」と「学術用英語」の科目があります。どの科目でも、英語力を伸ばすだけではなく、今まで、英語が苦手だった人は、少しでも英語が好きになるように、また、英語が得意だった人は、ますます得意になるような授業を担当教員は目指しています。

「レベル授業」科目は、「読む・聴く・話す・書く」という4技能全般を伸ばすための授業内容で、レベル1からレベル5までの科目があり、レベル1から順にレベル5まで難易度が上がっていきます。それぞれのレベルでは、共通のシラバスを基に、授業が展開されています。

「学術用英語」科目は、レベル3以上の単位を修得した学生が履修することができます。各学部の時間割により様々な内容の授業があり、自分

で履修したいクラスを選択できます。

新入生は、入学後に、レベル1から3のクラスに分けられますが、履修科目は以下の通りです。

- ・レベル1となった場合、レベル1修了後、レベル2と3、つまり、6単位修得が必修です。

- ・レベル2となった場合、レベル2修了後、レベル3を履修する必要があります。

- ・レベル3となった場合、レベル3修了後、レベル4または学術用英語科目を履修する必要があります。

★総合英語6単位必修の学部・学科では、レベル3修了後は、必要に応じて、レベル4、レベル5(レベル4修了後)、または学術用英語科目を履修して、6単位を修得します。

みなさんの先輩からは、総合英語のクラスで友人ができた、という声をよく聞きます。課題も多く大変かもしれませんが、一生懸命取り組み、楽しく、しっかりと

英語を学べるはずですよ。一緒にがんばりましょう！



総合英語の授業風景

## 特集 大学の時間割

専門分野の先生の案内で、大学において専門分野について学ぶことの楽しさを、ほんのちょっと味わってみましょう。

## 「恋(こひ)」と「愛(あい)」はどのように違うのか ― 国語学的分析の一例 ―

「恋(こひ)」と「愛(あい)」はどう違うのか。「皆さんはどう思われますか。個人的には、前者は病的・一時的なもので、後者はより恒常的なものだと思うのですが、そういった分析は、哲学や文学、思想史による分析になると思います。私の専門の「国語学」は言語学の一つなので、あくまで一つの言葉として分析します。例えば「こひ」という言葉なら、昔は「こひ」と書かれ、漢字が日本に伝来する以前から日本に存在した、純然たる日本語(和語)であり、「恋(こひ)」という動詞の連用形が名詞として定着した語、ということになります。その意味では、日本固有の言葉であり、日本固有の概念です。このように、漢字を「訓読み」した言葉は、ほぼ日本固有の言葉と考えて差し支えありません。一方「アイ」は、「愛」という漢字の「音読み」で、古代中国語の発音から借用して定着した日本語(漢語)です。そういった違いが関係するのだと思いますが、「恋」には「恋(こひ)」という形容詞が古くから存在するのに対し、「愛」には存在しません。(この場合、「いとしい」「めづる)」などの訓読みの語は、「アイ」とは別の言葉です。)

もう少し違つ見方をしてみましょう。「恋は下心、愛は真心」というのは、漢字の組み立て方に着目したう

まい表現だと思えますが、漢字の本来的成り立ちということでは、もう少し深く分析しなければなりません。「恋は古くは戀」と書き、一説には糸がもつれるように、心が様々に乱れる」ということを表わした漢字だそうなんです。これに対し、「愛はその一番下の「爰」が「足を引く」という意味で、「心がせつなく詰まって、足もそぞろに進まないさま」だそうなんです(学研「漢字源」)。そう考えると、「恋も愛も実に苦しそうな字ですね。

私自身、大学に入学する時点では、国文学特に江戸時代を専攻しようと思っていました。しかし、「愛」とは、「恋」とは、「人間とは何か」という壮大なテーマよりも、言葉一つ一つの歴史の変遷を見ていく方が性に合っていると思いました。ただ、そういうアプローチを取ったとしても、その言葉を使った過去の人々の思想に触れることに変わりはなく、興味は尽きません。



「恋(戀)」と「愛」の漢字の成り立ち  
(学習研究社『改訂新版漢字源』2002より)

## 「微生物の世界から、地球規模の環境問題を考える」

農学部 成澤 才彦 准教授

Q: 微生物の研究に進むきっかけは何ですか？

A: 生物の一番重要な行動は物を食べることです。我々日本人は基本的には穀物食、特にお米を食べています。それらを支えているのは、実は微生物だということがきっかけです。

また、「この人と一緒に仕事をしたい」と思える恩師との出会いもありました。師と仰げる人との出会いがあり、その人の研究テーマが微生物だったということでした。その人の人間的な魅力も、もちろん大きかったと思います。

一方で、漢字や歴史が苦手で、考える余地がなく、理系しか選択肢がなかったというのも正直なところでした。好きなことにはちゃんと興味をもってやりますが、実は興味のないことに対しては右から左に流してしまいう性格で有名なんです(笑)。

Q: 微生物という小さな世界から、地球環境のような大きな問題を見ています。普段どのように研究を進めているのですか？

A: 私自身が受けてきた教育は、「自分ややっていることがどのように世の中に貢献できるか」ということを常に人に説明できるように仕事をしろ」というものでした。「科学者が一般の方にちゃんと説明できないような研究はやるな」ということです。学生の指導でも、まずこの研究成果がどのように世の中に役に立つのかを、みんなに聞き、しっかりとした仮説を立て、研究計画をつくります。

ただ微生物の世界はわからないことだらけで、仮定したことと全然違う結果がでることも結構あります。それでも最初に仮説を立てることは重要で、「このように世の中に貢献するために、今この部分をやるんだ」ということを強く意識します。初めは自分の中では全部つながっていきませんが、やってみると方向が変わっていくのです。でも常につながりをもった研究を根底にお

いて、バランスを取りながら進めていくことを考えています。



※参照

例えばこの松の苗の写真ですが、この中で、いわゆる植物の根は、中心にある太い3本だけです。周辺部分の細かいものは、実はこれは、植物の根ではなく全部カビの菌糸です。というところが、驚く人が多いですが、微生物はこれだけのネットワークを作り、植物と一緒に暮らしています。松はこの微生物がいないと生育できず、微生物が一生懸命に栄養を取って、松に与えることで生きています。一方、微生物も松から栄養をもらっています。このことは我々にいろんなことを教えてくれます。

松があまり栄養のない砂地で生育出来るには、こういったカビのような微生物がなくてはなりません。有名な

マツタケもこれらカビの仲間です。この例は、何も松とマツタケの関係に限ったことでなく、地球上のどこにでも普通に起こっています。

植物の栽培をするとき、近くに雑草が生えてきます。目的の植物が栄養を取れなくなるので抜きささいって言われた経験がありませんか？一見、雑草にみえますが、実は、目的の植物が弱ったときに逆に養分を作って供給しているのです。ネットワークで支えあっています。

このように普通の人の認識とは違うことが微生物の世界では起きています。みなさんが普段見ている部分で起こっていること、思っていることとはまったく違った現象を証明できることが、いい仕事だと思つて、いつも念頭において研究しています。

そして、更には「ちゃんとした森林ができるためには、こういう菌とのつながりが必要」とか「農作物が病気になるために、こういう微生物との関係を作ると強くなる」というようにつながっていきます。

このことは、人間の健康にも共通しているのですが、微生物と良好な関係

を作ると我々も病気にかかりにくくなります。一人で生きていくと人間ダメになるのと同じですね。一人では生きていけないように、ちゃんと自然界の中にはつながりがあって、お互いに支えあつて生きているということ、ミクロ的にもマクロ的にも教えてくれるのが微生物の世界です。

Q: 菌を擬人化した漫画として「もやしもん」がヒットしましたが、研究者の立場からこれらのキャラクターをどのように思われますか？

A: 作者の石川さんにも同じような質問をされましたが、菌の特徴をよくつかんでいて、非常によいと思います。これまで、あまり興味を持たないような人たちが、菌に興味をもつてくれるようになったのもうれい事です。私も、実験のときに「もやしもん」の話を聞けることもありますし、キャラクターを授業でのきっかけによく使わせてもらいます。

Q: 大学進学を前にしたみなさんへメッセージをお願いします。

A: 大学選びという点では、自分で好きなことができる大学を選んでくださいということですね。入れる大学とか入りやすい学部じゃなくて、好きなことができる大学です。

茨城大学の農学部は入ってみるといい大学だと思えますよ。研究もアクティブです。教育のシステムにおいても、自分の好きなことができるという点で、非常にお買い得なところだと思えますよ(笑)。

(C)石川雅之・講談社 / ドラマ「もやしもん」製作委員会

※写真: Mycorrhizal Symbiosis(Second Edition) by Sally E.Smith, David J.Readの表紙



「星に魅せられて～彼女が星女(ホシジョ)になった理由」

理学部理学科4年 檜木梨花子

Q いつくらいから星に興味をもちましたか？

A .. 星に興味を持っている人は、昔から家に望遠鏡があったとか、暗い所に住んでいたという人が多いと思います。私の場合は実家には望遠鏡等はありませんが、また田舎だったので星は見えただけですが、見える事が普通で、子供の頃から特別に興味を持っていた訳ではありませんでした。自然一般に興味を持っていました。

Q .. 中でも格別天文に興味を絞っていたのは、高校生の時でした。高校で地学部に入り、流星に関する研究テーマを持ちました。肉眼での観測だけでなく、電波観測等も行った為、教科書の既存の知識だけで無く、分からない事に対して自ら調べ、観測機材を自作していくうちに興味がどんどん深まっていきました。

Q .. 去年「世界天文年二〇〇九エッセイ賞」で大賞を受賞されましたが、理系でも文章を書くことに対しての苦手意識はありませんでしたか？

A .. 苦手意識を持つた事はほとんど無く、理系を理由に今回の応募をためらう事は無かったです。昔から読書が好きで小学生や中学生の頃は、三日に一冊程度のペースで本を読んでいます。高校で文系理系に分かれますが、文法や語法等の知識で無く、それ以前に自然に身に付いたものも大切だと思っています。

Q .. 応募のきっかけは何ですか？

A .. 私は学生が地域参画に参加し、地域活性を目指す学生地域参画プロジェクトにて、「光害対策プロジェクト」という活動を行っています。昨年は世界天文年であり、天文の様々なイベントが行われる中、私達もプロジェクト環

として、水戸駅での天体観望会を開催しました。

Q .. 光害対策プロジェクトとは？



写真：金星探査機あかつきにエッセイ大賞の副賞としてエッセイを刻印したプレートが載せられた(写真はレプリカ)

A .. 夜空の明るさ調査を行い、光害や天の川の分布を調べると共に、天体観望会にて天文普及を行っているプロジェクトです。初めは地域振興との関連性が薄いと言われましたが、現在では市町村や環境保全団体から評価されるようになり、環境展への出展も行うようになりました。また「そんな所で何が見えるんだ」と言われていた水戸駅での観望会も、現在では二百名近くの人が望遠鏡をのぞき、土星の輪や月のクレーターに感嘆します。多くの人に楽しんで頂いているという事と

もに、地域の天文同好会とも繋がりが出来、観望会の際に協力を頂ける様になった事も非常に励みとなっていました。

写真：副賞の望遠鏡を手にした檜木さん



たアウトリーチ能力を養いたいですね。また、研究だけではなくプロジェクトで行った様な、環境対策や天文普及等の地域に根差した活動を行っていきたいと考えています。

Q .. これから大学を目指す方に向けてメッセージをお願いします。

A .. 大学生という今しかない時期に様々な出会いや学びがありました。

挫折する事や失敗する事も多かったのですが、プロジェクトを通じて積極的に地域に出て、様々な人と交流する事で多くの人のアドバイスや支えがあり、エッセイ賞受賞も含めて、思いがけない事が出来る可能性を知りました。大学に進学したら、アイデアを周知させ勇気をもって一歩踏み出し、是非挑戦してみてください。思いがけない世界が開けると思っています。

Q .. これからの進路は？

A .. 大学院に進学したいと思っています。進学の理由としては観望会や講演会を行う中で、もう少し深い知識とその知識を上手く伝えられる能力を養いたいと感じるからです。一般の方に科学を分かりやすく伝えるという

檜木さんのエッセイ「星、届けます」は、世界天文年のHPで読むことができます。

(<http://www.astronomy2009.jp/>)

([ja.project/essay/award.html](http://ja.project/essay/award.html))

## ●農学部 生物生産科学科 作物学研究室



農学部生物生産科学科  
4年 宮達也

作物学研究室では、新田先生、浅木先生のご指導のもと、イネやスイートソルガムを中心にさまざまな作物の形態や栽培に関する研究を行っています。具体的には、スイートソルガムを用いたバイオ燃料の生産に関する研究やイネの生理・生態に関する研究を行っています。また、安定多収で環境への負荷軽減可能な栽培技術の開発やスイートソルガム絞りがす残渣の農業利用に関する研究も行っています。これらの研究は、作物の生産性や品質の向上のための基礎となるものであり、非常に重要です。

また、作物の栽培管理や調査は1人だけの力で行うことはできないため、研究室のメンバーで助け合い、協力し合うことがとても大切です。時には辛いこと、琢磨しつづ、助け合うことの大切さを学ぶことができ、さらに、体力の向上が期待できる研究室となっています。興味をお持ちの方は気軽に研究室を訪ねて下さい。

私はAR(拡張現実感)技術を農業分野にどのように応用するか、ということの研究対象にしています。



ARとは現実世界にコンピュータによって作り出された情報を重ね合わせる技術です。例えば、ドラゴンボールのスカウターや、iPhoneのセカイカメラがそれにあたります。私は戦闘力の代わりに水分が足りない、肥料が多い、または調子いい等の植物の健康状態を图示できるように日々勉強しています。

私達の研究室は生徒が3人で、岡山先生の指導のもと、三者三様の研究をしています。中には自分の趣味を研究に発展させた人もいます。私達は研究室1期生ということもあり、それぞれ試行錯誤していますが、自分の関心があるテーマなので自主的に研究を進めようという意識を持って取り組んでいます。

農学部 地域環境科学科  
4年 宮脇和也

## ●人文学部 人文コミュニケーションシヨン学科 考古学 田中裕研究室



人文学部  
3年 石田友里恵

私たちの所属する考古学研究室には、田中裕先生のご指導のもと、3年生3名と4年生2名が在籍しています。

このゼミでは日本を中心として、実際に「モノ」を扱う考古学を勉強しています。所属学生の研究テーマは多種多様ですが、発掘や測量などの調査作業、また資料整理などの様々な作業を通じて、「みんなでおこなう」というチームワークの精神が養われ、とても仲の良い研究室です。

週1回の基本のゼミのほか、月1回のオープンゼミや発掘整理作業はもちろんのこと、技術向上のために2年生の実習の授業に参加するなど、常に活動的であるのが私たちのゼミの特色です。午後3時にはお茶会があり、わきあいあいとした日本考古ゼミならではのといえるでしょう。また、オープンゼミやお茶会には、興味のある人ならゼミ生でなくても参加できます。考古学に興味のあるみなさん、ぜひ田中裕研究室の向かい、考古学実習室へお越しください。

人文学部  
文コミュニケーションシヨン

環境社会学とは、私たち人間とそれを取り巻いている環境との多様な関係性や、環境問題の社会的側面に着目して研究を行う学問です。

私たちが所属している環境社会学ゼミナールでは、まさに今我々が直面している環境の変化について、原口先生とともに勉強を続けています。基本的には教科書を輪読しながら、様々な過去の事例を学ぶということと、新聞記事で現代の新鮮なニュースを読み解くという作業を行っています。



4年生は卒業論文制作の真っただ中です。各自の問題関心に沿って研究を進めていくので、地域の温暖化政策や、ゴミ問題、地元である霞ヶ浦の導水事業と幅広いテーマが選択されています。

ゼミには、現在3年生9名と4年生3名が在籍していて、真剣でありながらも仲良く学ぶことができている。「現場主義」を実践しようと、6月末には東海村原野に見学に行き、東海村の人々の生活に多くの影響を与えた原野の姿を、自分たちの目で確かめてきました。

人文学部社会科学科  
3年 庄子峻太

## ●人文学部 社会科学科 環境社会学ゼミ



# 学生が語る／自慢のゼミ・研究室

●教育学部  
人間環境教育課程心理コース  
村野井研究室



私たちの研究室は、村野井均先生のご指導の下、研究生院生を含め4名の学生が在籍しています。心理コースでは3年生からゼミに所属します。一人一人が研究テーマを決め、週に一回のゼミで討論を交えながら楽しく研究を進めています。私の所属する研究室では、テレビや携帯電話などのメディアが人に及ぼす心理的影響やマイナス面への改善策、人工知能の研究、観衆効果などを取り上げています。

夏休みになると、心理コースの学生・先生全員で泊二日の合宿を行い、研究の途中経過を発表します。発表中は鋭い質問をする先生もいらっしゃいますが、夜の宴会では研究成果を褒めてくれる優しい方ばかりです。先生方やほかの学生の意見を聞きながら、内容の濃い、充実した研究をすることができています。

教育学部  
人間環境教育課程心理コース  
3年 小川実香

私たちの所属する藤縄研究室は、昨年度赴任されてきた長谷川健先生と共に「火山研究室」として活動しています。研究対象はその名の通り火山です。火山と言くと今春のアイスランドの火山噴火を思い出すかもしれませんが、日本も非常に火山の多い国なのです。

現在活動している火山の噴火防災をするためには、過去の火山活動の様子を知ることが重要です。そこで、私たちは主に過去の火山活動の解明を目的として研究しています。実際に山に登って野外調査を行い、その後大学で岩石や火山灰の記載分析を行っています。

現在、藤縄研究室には院生1人、学部生5人が在籍しています。皆、野外調査が好きな、個性的なメンバーです。指導してくださる藤縄先生は、まるで父親のような存在です。的確な助言をされる時もあるれば、温かく見守ってくださる時もあります。そんな藤縄研究室は家族のような雰囲気です。興味がありましたら、気軽に遊びに来てください。

理学部理学科  
4年 小畑 大樹



●理学部 理学科  
藤縄研究室

●工学部 電気電子工学科  
通信信号処理研究室



みなさんは日常生活の中で携帯電話を使用したり、無線LANを使ってインターネットを見たりする機会が多くありませんか？私たちの研究室ではそのような「無線通信」をキーワードとして日々研究を行っています。携帯電話や地デジなどをはじめとして、現在も発展が目覚ましい無線技術ですが、やっぱり性能を見てみると完璧なわけではないんですよね。そこで私たちはその悪くなってしまう部分を少しでも良くするため努力しているわけです。なかなか魅力的な研究室だとは思いませんか？(笑)

実際やってみると難しい部分も多かったりしますが、そこは宮嶋先生の指導のもと、勉強会を行って基礎知識を固めたり、週に数回のゼミでディスカッションをすることでどんどん遅くなっていきますので、ご安心を。

なにか新しいことに挑戦したいという方には超オススメです！気がなったらぜひ見学に来てみてはいかがでしょうか？

理工学研究科電気電子工学専攻  
修士2年 桑名 諒

研究室内のモットーは「良く学び、良く遊ぶ」で、研究の合間にも花見や、食事会、バーベキュー、野球大会、マラソン大会などの各種イベントも行われています。学年の垣根を越えて、議論したり、楽しんだり出来るのがこの研究室の魅力の一つです。毎日充実した日々を送れるとともに、大学生活の思い出が数多く出来る研究室です。興味がある方はぜひ遊びに来てください！お待ちしております！！

工学部 都市システム工学科  
4年 坂野 彰



●工学部 都市システム工学科  
防災・環境地盤工学研究室

防災・環境地盤工学研究室、小峯秀雄教授と村上哲准教授の指導の下、「防災」「環境」「創造」をキーワードに、現在問題になっている地盤工学分野の課題について研究を行っています。地震時の液状化、海岸や河川の浸食、放射性廃棄物をはじめとする廃棄物処分などにおける対策や、ハザードマップの開発など、日本国内だけでなく、常に世界全体に目を向けた研究を行っています。



## 第6回茨城大学学生国際会議

(主催：茨城大学、後援：茨城県教育委員会)

平成22年11月13日(土)・14日(日)

茨城県立図書館・茨城県三の丸庁舎大講座室

・茨城大学サテライト教室にて開催予定！

茨城大学学生国際会議は、学生による学生のための国際会議として設立されました。茨城大学の大学生・大学院生が主体となり、企画から運営までを一貫して行う本会議においては、海外からの積極的な投稿はもちろん、大学生だけでなく高校生や高専生からも毎年多くの投稿をいただいております。第6回目を迎える今回の会議では、「Possibility(ポシビリティ)」というテーマのもと以下のトピックを設定しました。

- 1) Environment & Ecology (環境・生態)
- 2) Engineering (工学)
- 3) Information & Communication (情報・コミュニケーション)
- 4) Human health (健康)
- 5) Others (その他関連分野)

様々な分野で技術革新が進んでいる時代にあって、私たちの未来、可能性は無限に広がっています。本会議への参加を通して、普段触れることのない分野を体感することが、ひとりひとりの“可能性”を広げるきっかけになればと思っています。

これまでの会議ではアメリカ、中国、スリランカ、シンガポール、バングラデシュ、インドネシア、モンゴル、ミャンマーなど世界各地の海外国籍の学生から投稿があり、国内でも茨城大学のほか全国の学生にご参加いただいています。ISCIU4からは「高校生」の参加を推進し、茨城高専、福島高専、群馬高専、竹園高校、水戸第二高校の学生からの参加があり、英語による自由闊達な熱い議論をしていただきました。今回の

会議においても高校生や高専生からの積極的な投稿を期待するとともに、実行委員一丸となって、発表しやすい場、国や研究分野、文化的背景といった境界を超えて意見交換を行うことのできる雰囲気づくりに努めていきたいと思っています。



今後の詳細な情報に関しましては、ホームページにて随時公開していく予定です

(Website: <http://isciu6.agr.ibaraki.ac.jp>)

ただいま発表者募集中です。(8月31日(火)まで)

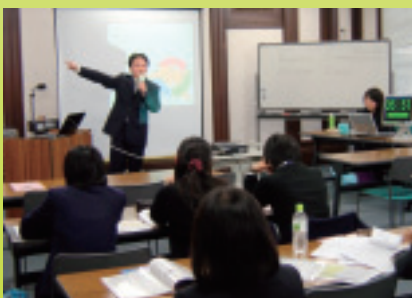
またご不明な点については

専用メールアドレス

(ISCIU6実行委員会: [isciu6@gmail.com](mailto:isciu6@gmail.com))

へご連絡いただければと思います。

(第6回茨城大学学生国際会議実行委員長 佐藤慎哉)



学生による発表風景



発表に聞き入る聴講者の様子



ISCIU5実行委員メンバー



## 茨城大学からのお知らせ

### TVドラマ『もやしもん』七月八日深夜より好調放送中

阿見キャンパス(農学部)において撮影が行われたTVドラマ『もやしもん』が、フジテレビノイタミナにて七月八日(木)深夜よりスタートしました。  
 (放送時間は毎週木曜 二十四時四十五分～)  
 農学部のキャンパス風景や研究室なども登場します。今号ホームページのインタビューに登場しました成澤才彦先生も大学院生役として出演しています。その他、随所に教職員学生がエキストラとして多数参加しています。  
 放送は九月までの全十二回を予定していますので、ぜひ一緒に楽しくみください。



(C)石川雅之・講談社/ドラマ「もやしもん」製作委員会

公式HP  
<http://moyashimon.noitamina.tv/>

### 茨城大学「二日体験化学教室」(日本科学会共催)を開催します

【会 期】：二〇一〇年八月二十七日(金) 九時三〇分～十七時

【会 場】：茨城大学理学部K棟1階インタビュースタジオ(K118号室)、水戸キャンパス各研究室(水戸市文京2-1-1)

【内 容】：●講義・顕微鏡でみる化学の不思議・金幸夫(茨城大学理学部教授) ●実験：七つのテーマから希望のテーマを選択し、数名ずつ各研究室に分かれて参加者自身が実験を行います。テーマについては関連HPをご覧ください。

関連HP: <http://www.ipc.ibaraki.ac.jp/~chem/taiken10.html>

【対 象】：高校生(引率の先生方も歓迎いたします)

【参加費】：無料

【参加申込方法】：Eメールで「茨城大学二日体験化学教室参加申込書」と題記し、「氏名(フリガナ)」「学校名・学年」「連絡先(郵便番号・学校あるいは自宅住所・電話番号・Eメールアドレス(必須)等)」「希望する実験のテーマ(第1から第五希望まで)」を明記の上、左記宛にEメールでお申し込みください。高等学校からの申し込みも可能です。

Eメール: [yshima@mx.ibaraki.ac.jp](mailto:yshima@mx.ibaraki.ac.jp)

### エコノパワー燃費競技クラブがCEA賞を受賞

### 「ワールド・エコノ・ムーブ大会(燃料電池部門)」

エコノパワー燃費競技クラブは、水素を用いる燃料電池部門に「チーム茨城大学」として参加し、CEA賞(グリーン・エナジー・アライアンス)賞を受賞しました。  
 開催は五月二日・四日、秋田県大湯村で行われ、茨城大学は「鉛蓄電池部門」「燃料電池部門」のうちの「燃料電池部門」に出場しました。



周回中の様子(右側が茨城大学)

競技は与えられたエネルギーをいかに上手に使い切るかを競い、一時間以内の走行距離を競うものです。高校生から一般までおよそ二〇〇団体ほどが参加、創意工夫を競いました。

外装ボディは約二〇〇ほどのアルミ缶で作成、その点でもエコを意識したといえ、今回の受賞につながったメンバーは考えています。今回の走行距離は二十三キロで満足とはいえないまでも、改善点はいろいろあり、今後も改良していきたいと話していました。

今後の目標としては、八月末にツインリンクもてぎで開催されるエンジン部門の競技に参加し、上位入賞を目指しています。



エコノパワー燃費競技クラブのメンバー

### 編集後記

今号で「大きな百合の木の下で」も二〇号となりました。年二回の発行ですが、十年間みなさまに愛されてきたという事になります。これを二つの節目として、本誌も更なる進化を遂げる時期になったともいえます。

この四月から、茨城大学に広報室ができました。ここを拠点に、これからもみなさまにご愛読いただける広報誌づくりをしていきたいと思っております。

●茨城大学 ニュースレター「大きな百合の木の下で」20号 平成二十二年七月発行



●編集・発行 茨城大学広報室

●〒310-8522 茨城県水戸市文京二丁目 番号 電話:〇二九-二三八-八〇〇八

●「大きな百合の木の下で」は茨城大学ホームページにも掲載されています。  
<http://www.ibaraki.ac.jp/>

# なつたん 夏短 小・中・高生全学年対象 で一気に勝負!!

6回コース 8回コース 10回コース  
12回コース 24回コース ...

## 夏休み短期集中指導

- 夏休みは自宅でマンツーマン指導を受けたい。
- 部活の大会や暑い事で夏期講習のスケジュールと合わない。
- 時間を有効に使いたい。

それなら家庭教師が一番。スーパー家庭教師なら、この夏一気にワンランクアップが可能です。指導教科・日程・指導時間などすべてがオーダーメイド。

友人に誘われて行く大人数の夏期講習もいいけど... 君の大切な夏休みを有効に過ごすには、君だけのマンツーマンの夏期講習が一番です。



立川志の輔

「夏短!」での指導	学習塾での講習会
完全1対1指導 学力・能力に合わせての指導	1クラス10~30名 基礎・応用クラス別
プロ家庭教師 スーパー家庭教師	監講師 アルバイト教師
キミ専用の計画表を作成いたします 1学期までの総復習と2学期の予習も行います	クラス毎のカリキュラム
常に対話しながら進めます 理解度を確認しながら進めます 勉強を楽しくさせません	自分から積極的に授業に参加 できない形式なので「ただ聞いているだけ」になりがち

教 科: 何教科でも希望に応じます  
テキスト: 教科書、お持ちのテキストを使用  
場 所: ご家庭に家庭教師派遣(事務局指導も可)  
対 象: 小学生・中学生・高校生のお学年  
期 間: 夏休み中の期間は日数・日数の組み合わせ自由  
時 間: 1日2時間・2時間30分・3時間指導など自分のペースに合わせて選べます

弱点分野克服 1学期総復習 高校入試対策 センター試験対策

提携ブランド: スーパー家庭教師 全国160都市で地域教育に貢献 高度実践31年

茨城県家庭教師ネットワーク

お問い合わせは 二重丸で オールナンバーワン  
**0120-00-1111**

安全が通ネットワーク 完成

5つの安心

- ① 無償
- ② 無料
- ③ 無罪
- ④ 無罰
- ⑤ 無害

教科書代、年会費、教材代なし  
電話代、教材代なし

■水戸事務局 ☎029-232-3344代 ■日立事務局 ☎0294-22-6666代 ■土浦事務局 ☎029-827-3355代

## あなたに一番近い、通信制大学 放送大学

放送大学はテレビ、ラジオで授業を行う正規の大学です。

- 自由な学習スタイル (自宅マイペースに)
- 魅力ある授業が約300科目 (学びたい科目だけを!)

募集期間(年2回)入学試験はありません  
4月入学(11月15日~2月末日)  
10月入学(6月1日~8月末日)

茨城大学の単位を放送大学で取得しませんか  
(放送大学で取得した単位を茨城大学の単位にすることが可能です)  
...詳しくは茨城大学の事務局(学務課学務調査係)へ



【お問い合わせ先】 〒310-0056 水戸市文京2-1-1(茨城大学キャンパス内)放送大学茨城学習センター  
TEL:029-228-0683 FAX:029-228-0685 http://www.u-air.ac.jp

## Training Cars



高速教習車は、メルセデスベンツとトヨタプログレを使用しています。

無料スクールバスをご利用下さい。(30分毎に定期便が送迎いたします)

## 公認 昭和自動車教習所

茨城県公安委員会指定  
〒310-0851 水戸市千波町1987  
TEL.029-241-0300(代)  
教習時間/am8:30~pm7:20 休日/月曜日、祝日

HP [http://n-soft.jp/showa\\_hp/](http://n-soft.jp/showa_hp/)